



美しい山・川・海
人が躍動する 交流と共生のまち

ふるさと

香美

今月号の主な内容

- ・町政懇談会を開催しました … P. 2～3
- ・交流を通じてお互いの発展を … P. 4～5
- ・新しい健診・保険指導制度がスタート! … P. 6～7
- ・確定申告が始まります … P. 8～9
- ・おめでとう! 新成人 288人 … P.10～12
- ・行政トピックス … P.13～17
- ・まちの出来事 … P.18～19
- ・キラリ! 香美町 … P.20
(別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)



2

香美町広報
平成21年2月号
(第47号)

【写真】 白銀の世界を駆け抜ける

町民スキー大会クロスカントリーの部 (おじろスキー場)

1月25日、おじろスキー場で開催された第4回香美町民スキー大会クロスカントリーの部。選手は雪化粧したアップダウンのある林間コースを、力強く駆け抜けていました。

平成21年度に向けて 新しい香美町づくり 4年間の振り返って 町政懇談会を開催



▲村岡老人福祉センターにて

平成17年4月に香美町が誕生してから4年がたとうとしています。

4 活力ある福祉社会の創造

合併直後、新しい尺度とされた「実質公債費比率」で28・8%と厳しい財政状況が顕在化したことから、この4年間は財政の健全化に道筋をつけながら、新しい香美町づくりを進め、その方向について一応の目途をつけるに至りました。

平成21年度の町政の方向を決めるにあたり、1月28日から31日にかけて、各区ごとに町政懇談会を開催して、4年間の取り組みと今後の方向について説明し、町民の皆様のご意見をいただきました。

① 少子化対策

- ・若者定住促進奨励金制度の制定
- ・結婚・出産お祝いメッセージ送付
- ・出産・子育て支援の充実
- ② 高齢者対策
- ・しいのき学園、いこいの里などの高齢者生きがい生活の支援
- ・特別養護老人ホーム「むらおかこぶし園」や香住病院介護老人保健施設「ゆうすげ」の整備
- ③ 団塊の世代誘導対策
- ・香住山手分譲地の整備による団塊の世代誘導対策

今後の取り組み

1 財政の健全化

- ① 実質公債費比率の25%以下への早期引下げ
- ② 地域振興基金の創設
- ③ 下水道接続の推進

2 観光対策

- ① 「世界ジオパーク」認証の実現
- ② 四季型観光への転換
- ③ 余部「道の駅」の整備

3 産業振興

- ① 漁業・水産加工業の活性化
- ② 但馬牛増頭対策
- ③ 農・商工連携
- ④ 特産農産物の育成
- ⑤ 森林の整備

4 福祉・教育

- ① 少子化対策の拡充
- ② 前期高齢者の社会参加の促進
- ③ 学校耐震化への取り組み

5 地域対策

- ① 小規模集落対策の推進
- ② 野生鳥獣対策の強化

6 社会基盤の整備

- ① 幹線道路の整備促進
- ② 情報通信の拡充
- ③ 山手住宅用地の分譲促進
- ④ 上水道浄水場施設の整備

4年間の取り組み

1 財政健全化

- ① 行財政改革大綱に基づく計画的改革
 - ・ 財政運営の安定化（基金の確保）
 - ・ 実質公債費比率引き下げ
- ② 行財政改革大綱に基づき集中的改革
 - ・ 人件費の削減
 - ・ 未利用公有財産の売却
 - ・ 使用料・手数料の見直し
 - ・ 香住病院の経営改善

2 多彩な資源を活かした観光対策の推進

- ① 海と山の豊かな自然を活かした観光振興
 - ・ しおかぜ香苑の整備
 - ・ 山陰海岸の「世界ジオパーク」認

証の取組み

- ・ 四季型観光の推進（山の祭典「但馬牛・食まつり」の開催ほか）
- ② 都市との交流
 - ・ 尼崎市、門真市との交流
 - ・ 吹田市との新たな交流（フレンチドリップ交流調印）
- ③ 余部鉄橋関連イベントの実施

3 山と海との特色ある産業の振興

- ① 農業・畜産業の振興と地産地消の推進
 - ・ 村岡米のブランド化
 - ・ カニ殻と牛ふんを使ったブランド堆肥
 - ・ 野生鳥獣対策の推進
- ② 漁業・水産加工業の振興
- ③ 小規模集落対策の推進

5 ふるさとに愛着をもつ青少年の育成

- ① 学校教育の充実
- ・ 村岡区3中学校の統合（村岡・兎塚・射添）
- ② ふるさと教育の推進

6 町民と行政が一体となったまちづくり運動の推進

- ① 香り高く美しいまちづくり運動の推進
- ② 香美町いきいきまちづくり運動の推進
- ③ マイバック運動
- ④ さくら植樹事業

7 幹線交通ネットワークの整備

- ① 交通ネットワークの整備

主な質疑内容

各会場の主な質問や意見を紹介し、紙面の都合上、すべての内容を掲載していませんが、ご了承ください。

●小代区

1月28日 小代区総合センター

【町道整備】

問 町道には、きついカーブや見通しの悪い場所、大型の車がスムーズに通じられないところがある。改良はできないのか。

答 国の補正予算による公共事業を実施する予定です。町内各所の要望も聞いています。1箇所集中することなく、少しでも多くの箇所を改良するように検討しています。(町長)

【野生鳥獣対策】

問 サルの被害が後を絶たない。個体数を減らす方策を検討するべきでは。



▲小代区総合センターにて

答 サルを捕獲しても引き取り手がないため、処分が困難な状況になっています。可能な対策はどしどし取り組みたいと考えて、現在、先進的な事例がないか調査しています。具体的な内容がまとまったら、対策協議会で協議いただきたいと思います。(町長)

●村岡区

1月30日 村岡老人福祉センター

【環境に配慮したまち】

問 石油からではなく動植物から生まれた有機性の資源(バイオマス)を使った環境対策とごみの減量化に取り組んでは。

答 香美町は森林資源が豊富な町です。木材を原料とした燃料の使用を考えています。具体的には村岡地域局玄関にペレット(木の削りかすなどでできた燃料)を使うストーブを設置することになっています。

また、広域のごみ処理施設が豊岡市竹野町に建設されることに決定しました。ごみの輸送には従来よりもコストがかかることもあり、現在よりもさらに細かく分別し、ごみの減量化、再資源化に取組みたいと考えています。

今後、環境にやさしいまちづくり運動も一層展開していきたいと考えています。(町長)

【門真市との交流と観光対策】

問 新聞報道によると『ロッジかどまが廃止』とのことだった。このまま門真市との交流は失われてしまうのか。

答 香美町として門真市との交流に変更はありません。先日開催しました「但馬牛・食まつり」や「かに場まつり」にも参加していただいています。

今までから行ってきた交流についても変わらず行っていきたいと考えています。交流の拠点である「ロッジかどま」については、門真市との協議を重ねましたが、財政的な問題があり、民間に譲渡されることになりました。施設が譲渡されても、門真市との交流はこれまで以上に深めていきたいと考えています。(町長)

●香住区

1月31日 香住文化会館

【水質環境】

問 近年、矢田川から魚がいなくなっただけでなく、水質に原因があるのではないかと懸念しています。

答 合併前から3区を流れる矢田川に関する取り組みを行ってきました。下水道処理も進み水質も確実にきれいになってきていると思われまます。町としても、矢田川漁協を通じて、アユなどの稚魚の放流に取り組み、河川工事と併せて魚道を作るなど、環境整備を行っています。(町長)

矢田川には、矢田川レインボーヤクリーンセンターが隣接しているた

め、年に4回水質検査を行っていません。水質調査の数値は、基準をすべて下回っています。(健康福祉部長)

【景気対策】

問 国から町に地域活性化・生活対策臨時交付金が3億8800万円交付され、町内各所の工事をするとのことだが、町内の建設関係者は、現在、廃業に追い込まれる状況に陥っている。新しく利子補給制度を設けられたことはありがたいが、それよりも、仕事を一つ一つもらうことが一番の解決策につながる。計画を早くまとめ、公共事業の早期発注を。

答 合併後の町の財政状況が厳しいため、投資事業の抑制などを行って収支の均衡を図ってきており、その結果、徐々に財政再建の目途がつかつてあります。

今回、国の景気対策として、交付金の交付が決定しましたので、各集落からいただいた要望箇所を点検し、どの工事をどのように行うかについて検討しているところです。(町長)



▲香住文化会館にて

●問い合わせ先

役場総務部総務課

交流を通じてお互いの発展を

門真市・尼崎市・吹田市との友好交流

本町では、都市との積極的な交流を進めていくこととし、門真市、尼崎市に続いて、昨年から吹田市とも正式に交流を進めることとしました。いずれの都市も阪神間の中心部に位置し多くの人口を抱えています。

一方、本町は、豊かな自然や特産物に恵まれています。交流人口を拡大し観光をはじめとする産業や地域の活性化を図ることが大きな課題となっています。

そこで、本町の魅力を紹介する「香美町魅力体験ツアー」などで、多く

の交流都市の皆さんに本町を訪れていただいたり、市民まつりなどのイベントに出向いて特産物の紹介や観光PRを行うなどして、多くの皆さんに本町の良さを理解していただくよう努めているところです。

今後とも、交流都市の皆さんに「ふるさと」を体感してもらえようような温かな交流行事を積極的に行い、多くの市民の皆さんがカーニスキヤスキーをはじめ、四季折々に本町を訪れていただこう、交流の輪を広げていきたいと考えています。



門真市（大阪府）

○まちの概要

大阪府の北東部に位置し、面積は約12平方キロメートル、人口約13万人のまちです。もともとは、穀倉地帯でしたが、産業都市へと移行、松下電器（現在はパナソニック）のまちとしても知られ、東大阪工業地帯の重要な位置を占めています。産業の振興と合わせ、市民主役のまちづくりを積極的に進めています。

○交流の経過

過疎化の進む当時の村岡町と、過密都市「門真市」が友好交流によりお互いのまちの振興を図ろうと、昭和50年3月に姉妹都市提携を結び、活発な交流が行われてきました。昭和56年12月には、和池地区に「ロッジかどま」が建設され、交流の拠点としてその役割を果たしてきました。平成17年新町誕生後も提携を継続し現在に至っています。

○交流の状況

これまでの経過から、村岡区を中心に交流を行っています。毎年4月には、1泊2日で山菜バスツアーを実施し、多くの市民の皆さんに本町を訪れていただいています。

また、今年度の香美町魅力体験ツアーは、6月に初夏の但馬高原植物園を巡る村岡コース、11月には但馬牛・食まつりの小代コース、12月には力二場まつりの香住コースと3回実施し、合計116人の門真市民の皆さんにお越しいただきました。

門真市内のイベントへの参加としては、門真市民まつりや門真市農業まつりには毎年出店、今回新たにラブリーフエスタにも参加しました。実演で提供する栃もちやアマゴの炭火焼などは大人気で、村岡特産物開発振興会の小林正会長は、「村岡の特産品を楽しみにしてもらい、うれし限りです。顔なじみの市民の皆さんもたくさんいらっやいます」と交流の成果を語っておられました。



▲村岡の特産品は大人気!!(ラブリーフエスタ)

尼崎市（兵庫県）

○まちの概要

兵庫県の南東部に位置し、面積は約50平方キロメートル、人口約46万人のまちです。昭和の高度経済成長期には、阪神工業地帯の中核都市として日本の経済発展を支え、工業都市としてのイメージがありますが、江戸時代の劇作家、近松門左衛門ゆかりの地であることから、「近松のまち」として文化の香り高いまちづくりを進めています。

○交流の経過

昭和54年に、当時の美方町が、都市との交流により地域の活性化を図ろうと、県下一の人口過密都市「尼崎市」に交流を働きかけたことがきっかけです。行政間の提携や協定こそありませんが、町民有志で組織する「尼美会」（尼崎市との親善を進める会）が主体となつて交流が進められてきました。平成8年度には「尼崎市立美方高原自然の家（愛称「とちのき村」）が新屋地区に整備され、主に市内小学校の自然体験学習の拠点として、年間延べ4万人近い利用があります。

また、平成13年には、尼崎市内にアンテナショップをオープンさせ、合併後は、香美町のアンテナショップとしてその役割を果たしています。

○交流の状況

これまでの経過から、小代区を中心に交流を行っています。毎年、七

夕の季節には、市内の幼稚園児に笹の葉のプレゼントを、冬には市内のイベントに雪のプレゼントも行っています。10月の市民まつりには、観光協会を中心に本町の豊富な特産品や観光のPRの出版を行っています。今年度の香美町魅力体験ツアーには、合計36人の参加があったほか、尼美会が呼びかける山菜採りや芋掘りツアーには、毎年のように小代を訪れる参加者も多く、地元の人たちと気心の知れた友人のような交流が行われています。尼崎市の桜井文夫さんは「小代は、私にとって第2のふるさとのようです。毎年のように小代はもちろん香住の方にも足を延ばしておいしいものをいただいています」と語ってくださいました。



▲新屋区の皆さんともちつきを楽しむツアー参加者

吹田市（大阪府）

○まちの概要

大阪府の北部に位置し、面積は約36平方キロメートル、人口約35万人のまちです。昭和の経済成長に合わせ千里ニュータウンの建設や、昭和45年には、万国博覧会が開催されるなど、日本初の大事業を経験してきた吹田市は、自らの文化や風土ははぐくみ、豊かな明日へまちづくりを進めています。

○交流の経過

門真市、尼崎市に続く交流都市をと考えていたところ、縁あって吹田市との交流の話がありました。その後、市役所の本庁ロビーなどを借りて余部鉄橋の写真展を開いたり、市内のイベントで香美町フェアを開催するなどしてきました。また、これまでから、市内の小学校8校が修学旅行を兼ねた臨海学校で本町（佐津）を訪れたりするなど、多くの市民の皆さんとの交流が行われてきました。このような中、昨年11月12日に吹田市役所において、住民（民間）レベルでの相互交流の支援を目的とした「フレンドシップ交流」の調印を行いました。

○交流の状況

これまで、特定の交流都市をもたなかった香住区では、特に吹田市との交流を積極的に進めています。

5月の「吹田産業フェア」では、香住のカレイやハタハタの一夜干し

などの海産物を主に出店。1日目に買っていただいた方が2日目にも訪れ、「おいしかったので、また買いに来ました」などと大盛況でした。

11月、万博記念公園で開催されたエコフェスタには、観光協会を中心に本町の豊富な海や山の幸をPR。12月には、昨年に引き続きお誘いがあった津雲台商店会のイベントにも参加し、カニを中心としたPRを行いました。いずれのイベントでも、「香住のカニ」や「余部鉄橋」の知名度は想像以上でした。

なお、今年度の香美町魅力体験ツアーには、吹田市から合計83人の参加があり、また、3月には、吹田市が企画するバスツアーも計画されています。

吹田市との交流はまだ始まったばかりです。今後いろいろな方面で交流が芽生えることを期待しています。



▲交流記念として本町から吹田市に贈った大漁旗

新たに始まった特定健康診査（メタボリックシンドローム健診） 結果を分析

男性の2.4人、女性の5.8人に1人が、「メタボ」と「その予備軍」

平成20年4月からメタボリックシンドローム、いわゆる「メタボ」に着目した新しい健康診査「特定健診・特定保健指導」が始まり、3740人の町民の皆さんが受診されました。

本町の健診の特徴

- 特定健診の項目以外に検査項目を追加し、がん検診とのセット検診で人間ドック並みの検診を実施
- 町が行う特定健診の対象となっている40歳～74歳の国民健康保険加入者以外の人（39歳未満の人、75歳以上の人、40～74歳の他の医療保険加入者の被扶養者）も対象に健診を実施
- 健診時間の予約制を導入し、待ち時間の短縮を実現
- 小学校区単位に健診会場を設定し、身近な場所で気軽に受診
- 50問の質問に答えていただくことで健康アドバイスを提供

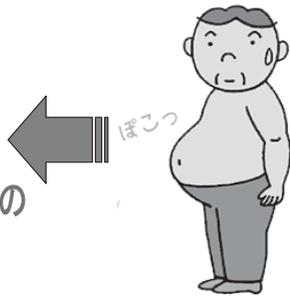
メタボリックシンドローム

メタボとは、内臓のまわりに過剰に脂肪がつく内臓脂肪型肥満に、高血糖、高血圧、脂質異常のうち、2

つ以上が加わった状態をいいます。たまり過ぎた内臓脂肪は、放置しておくと体にさまざまな悪い影響を及ぼします。

また、心臓病の発症危険度も、肥満、高血糖、高血圧、脂質異常の危険因子が1つでもあると5倍に、3つ以上あると36倍になるとされています。毎年、「特定健診・特定保健指導」を受けていただき、適切な健康管理をしていただくことが大変重要です。

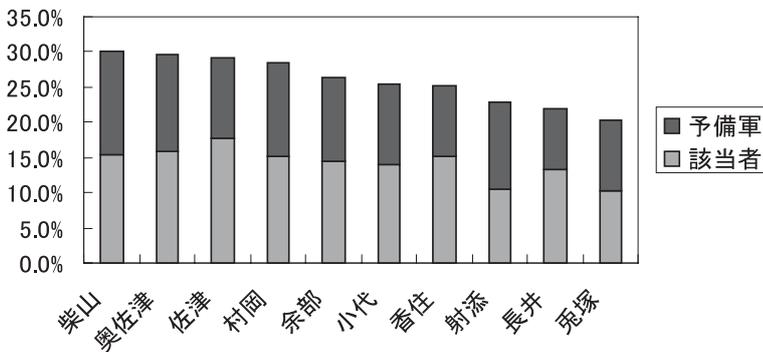
内臓脂肪がたまり過ぎると…



- 血中の中性脂肪値が上がる
- 血圧が上がる
- インスリンの働きが悪くなり、血糖値が上がる
- 動脈硬化が進行する

脳卒中・心筋梗塞・糖尿病の合併症を発症！

メタボリックシンドローム該当者・予備軍の状況(地区別)



メタボとその予備軍 男性で高率

74歳までの受診者2776人中、メタボ該当者は417人(15.0%)、予備軍は312人(11.2%)で、4人に1人がメタボとその予備軍に該当し、県平均を上回っていました。男性のメタボ該当者は23.2%で予備軍の18.6%と合わせて、41.8%

に、女性は予備軍を含めて17.1%が該当していました。男性の場合、20～70歳代までの各年代でほぼ4割が該当していたのに対し、女性は年齢と共に増加し60～70歳代で20%を超えていました。

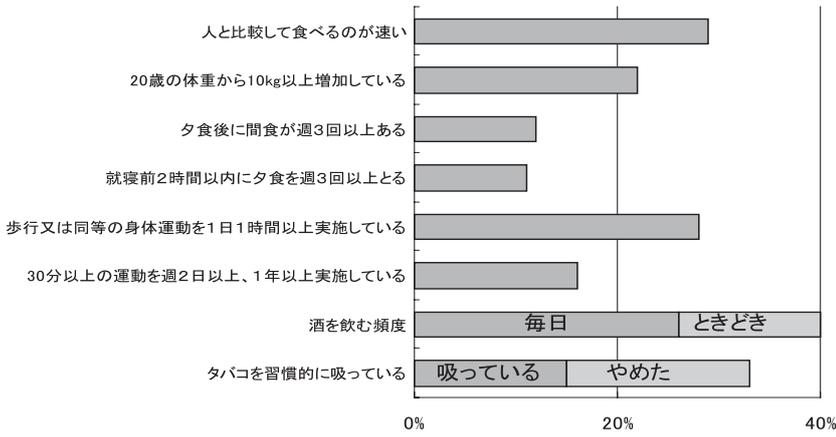
地区別では、肥満も30%を超えていた柴山に該当者が多くありました。

メタボでなくても油断禁物

検査項目別で異常率が高いのは、脂質異常で4人に1人の割合、次いで肥満と血圧が5人に1人の割合でした。さらに、要指導者を加えると脂質異常は50%、血圧と糖尿病は30%の人が該当し、予備軍と考えられる人が多いことがわかりました。性別では女性より男性で異常率が高くなりました。脂質異常では、LDL(悪玉)コレステロールの異常が47%と高く、次いで中性脂肪は16.6%でした。LDLは男女共に40～60歳代で、中性脂肪は男性は40～50歳代、女性は50歳以降で異常者が多くなっています。高血圧と糖尿病は、男女とも年齢と共に異常者が増えています。

地区別では、脂質異常は余部、兔塚、

生活習慣の実態(健診の問診票より)



項目別異常率(要治療判定者)

項目	香美町	兵庫県
脂質	24.5	25.9
肥満	22.3	19.2
血圧	20.1	16.8
肝臓	8.0	5.6
やせ	7.5	8.8
貧血	5.1	6.6
糖尿病	4.3	4.4
腎臓	3.0	2.7
尿酸	2.9	2.9

香住、長井で、高血圧は村岡、余部、奥佐津、射添で、高血糖は兎塚、香住、射添、余部の順に高くなっています。

生活習慣の改善がメタボの解消の鍵

健診の問診票を集計したところ、生活習慣を改善する意思のある人は35%、すでに改善している人と合わせて6割の人が、生活習慣の改善に意欲的であることがわかりました。生活習慣の改善は、当事者だけでなく家族ぐるみで取り組むことが大切です。健診結果を基に、より効果的で無理なく楽しく続けられる方法を、保健師や栄養士といっしょに考えていきましょう。

受診率の目標は65%

特定健診が医療保険者に義務づけられたことで、香美町の場合、40〜74歳の国民健康保険加入者の受診率の目標値が65%となっています。これに対し、平成20年度の受診率は、本町全体で39.1%でした。

受診率の目標達成自治体は7区

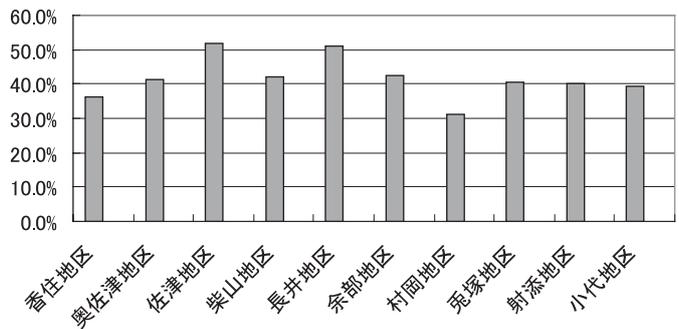
トップは香住区87.9%。特定健診の受診率を地区別にみると佐津と長井で50%を超えたものの目標達成地区はありませんでした。

行政区で見ると、120区中7区が目標の65%を超え、香住区の八原が78.9%でトップでした。

年代別にみると、65〜69歳代で受診率が50%に近づくものの、40〜50歳代は受診率が30%を切り、特に男性の40〜64歳代が低くなっています。

平成20年度受診率39.1%、国の示す目標値65.0%
特定健診は、毎年必ず受診しましょう!

特定健診受診率(地区別)



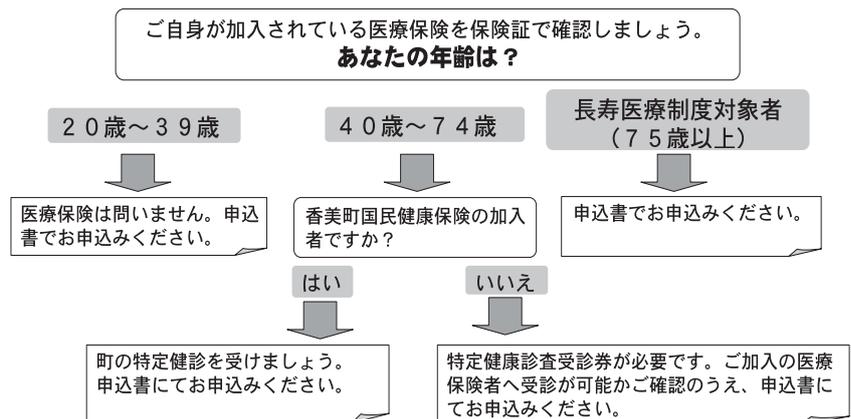
あなたも健診を申し込みましょう

自覚症状がないまま進行する生活習慣病を予防するためには、「健康だ」「自分は大丈夫」「若いから」と思っているうちから、受診を心がけ、健康管理や病気の早期発見、早期治療に努めましょう。

ご家庭に「平成21年度町ぐるみ総合健診のお知らせと申込書」を配布しました。次の申し込み手順で確認し、ぜひお申し込みください。

なお、がん検診・腹部超音波検診は、医療保険に関係なく、受診できます。(ただし、検診種別により対象年齢が異なります)

特定健診の申込みは?



もっと受けよう!がん検診

町ぐるみ総合健診では、特定健診とあわせて胃・肺・大腸・前立腺がんの検診や、女性の検診として子宮や乳がん検診を行っています。禁煙や食事、運動に気をつけて、がんを予防することはもちろんですが、2人に1人ががんになるという現実を直視し、早期発見するためにも、特定健診とともにがん検診を受けましょう。

確定申告は2月16日～3月16日、お早目に！

2月16日(月)から確定申告が始まります。申告の期限は3月16日(月)です。3月に入ると窓口が大変混雑しますのでできるだけ早く申告しましょう。

期限までに必ず申告をしましょう

確定申告には、所得税、住民税(町民税・国民健康保険税)の3種類の申告があります。

申告をしなければならぬ人は、平成20年中に収入があった人です。なお、平成20年中の所得が給与所得だけの人(年末調整を受けた人)で、役場へ給与支払報告書が提出してあり、ほかに所得控除が必要ない人は申告をする必要はありません。

また、1月1日現在、65歳以上で収入が148万円以下の公的年金収入だけの人は、所得税も住民税もかかりません。また、所得税が源泉徴収されない場合には、還付も発生しませんので申告する必要はありません。しかし、所得税が源泉徴収されている場合や、年金収入以外に雑収入、不動産収入、農業収入などほかに収入がある場合には、申告の必要があります。

●提出する申告書の種別

- 「所得税の確定申告書」
…所得税を納める必要がある人、所得税の還付請求をする人
- 「町民税・国民健康保険税申告書」
…所得税を納める必要のない人でも、収入があり、申告の必要がある人

●インターネットを利用した申告書の作成

国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)では、画面の案内にしたがって金額などを入力し、所得税の申告書や青色申告決算書などを作成することができ、印刷すればそのまま税務署に提出することができます。

●各申告書の提出先

- 「所得税の確定申告書」
豊岡税務署、役場総務部税務課、各地域局地域振興課
- 「町民税・国民健康保険税申告書」
役場総務部税務課、各地域局地域振興課

国民健康保険加入者・後期高齢者医療制度の対象者は「無収入」でも申告を！

国民健康保険制度・後期高齢者医療制度には、所得に応じて保険料・保険料を減額する制度があります。平成20年中にまったく収入がない人についても、「町民税・国民健康保険税申告書」で申告することにより、保険料・保険料を減額する制度が適用されることとなりますので、必ず申告をしてください。

所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかった人は「住宅借入金等特別控除申告書」を提出してください

平成18年末までに入居し、所得税の住宅ローン控除を受けている人で、税源移譲により所得税が減額となり、所得税から控除しきれない額がある場合には、翌年度の住民税から控除できます。

該当する場合は、申告期限(3月16日)までに町へ「市町村民税道府県民税住宅借入金等特別控除申告書」を提出してください。

農業所得の計算は収支計算で申告

農業所得の計算は、水稲所得標準に替わって収支計算で行うこととなっています。

申告に際しては、農業に関する金額がわかる書類(通帳、売上伝票、請求書、領収書など)を整理し、事前に配布しています。資料などで収支計算書を作成してから申告相談にお越しください。

事前に収支計算書を作成していないと申告相談を受け付けることができない場合もあります。また、収支計算書が用意してあると、申告相談も短時間で済ませることが出来ますので、ご協力ください。

「申告用紙」を必ず持参してください

所得申告に必要な用紙は、昨年確定申告をした人には、税務署から直接郵送されます。また、「町民税・国民健康保険税申告書」は、各区・自治会を通じて全世帯に配布します。

申告相談にお越しの際には、必ずこれらの申告用紙と所得などがわかる資料をご持参ください。

●問い合わせ先

役場総務部税務課
各地域局地域振興課
豊岡税務署
☎ 0796・22・2101

申告・納税相談所をご利用ください

次のとおり各区で相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。例年、申告期限が近づくと会場が大変混雑し、長時間お待ちいただく場合があります。申告はできるだけ早めに済ませましょう。

●香住区

会 場	日 程	受付時間
【町納税相談】 役場 1 階第 1 会議室 ・通常申告相談 ・給与所得者対象の休日納税相談	2月16日(月)～3月16日(月)の平日 3月1日(日)	9:00～15:00
【商工会相談】 香美町商工会館	2月19日(木)、3月5日(木)	10:00～15:30

●村岡区

会 場	日 程	受付時間 (受付場所)
【町納税相談】 村岡地域局 3 階会議室 ・通常申告相談 ・給与所得者対象の休日納税相談	2月16日(月)～3月16日(月)の平日 3月1日(日)	7:30～9:00 (地域振興課) 9:00～15:00 (3階会議室)
【商工会相談】 香美町商工会村岡支所	3月4日(水)	10:00～15:30

●小代区

会 場	日 程	受付時間
【町納税相談】 小代区総合センター青年研修室 ・通常申告相談 ・給与所得者対象の休日納税相談	2月16日(月)～3月16日(月)の平日 3月1日(日)	9:00～16:00
【商工会相談】 香美町商工会小代支所	2月26日(木)	10:00～15:30

税務課からお詫びと訂正

1月末に全戸配布しました「平成21年度町民税 県民税 国民健康保険税 申告のお知らせ」の内容に次のとおり誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

「申告書の書きかた」の「所得控除について」にある「(Ⅲ)医療費控除」の説明文で、「平成19年中に支払った医療費」とありますが、正しくは「平成20年中に支払った医療費」でした。

町有地(旧香美町庁舎跡地) 売却

町の行財政改革の一環として、本庁舎移転により空地となっていました旧香美町庁舎跡地の一部を売却することとしました。なお、周辺地域の活性化およびまちづくりの中心地として相応しい利用方法を提案していただいた計画を審査し、その提案と買受希望価格を総合的に評価する「提案型公募方式」により売却先を選定します。

●売却物件

物件：土地(旧庁舎跡地の一部)
 所在：香住区香住字門前1595番3
 地目：宅地
 地積：825.00㎡(約250坪)
 ●最低売却価格 7500万円



●申し込み、提案書などの受付期間

2月27日(金) まで
 (土、日、祝日を除く、8時30分～17時15分)

●売却先決定について

提案内容と土地買受希望価格を総合的に審査する審査会により、3月上旬をめどに決定します。

●注意点など

提案する事業は、町の賑わいづくりや活性化に寄与し、学校施設等の周囲の環境に充分配慮するものに限りません。(パチンコ店などは不可)

●問い合わせ(提出)先

役場総務部総務課

おめでとう！新成人288人



香美町の今年の新成人は288人（香住区182人、村岡区84人、小代区22人）。香住区中央公民館で1月11日に開催した成人式には、このうち235人（男性133人、女性102人）が参加。女性は色鮮やかな振りそで、男性はきりつと引き締まったスーツや羽織はかまで出席。若さあふれる皆さんでいっぱいになった会場は、とても華やかでした。



▲成人宣言を行う石原さん



▲記念品を受け取る西村さんと井上さん

式典では、藤原町長の式辞に続き、西村宏幸さん（香住区相谷）と井上絵梨香さん（小代区大谷）が代表として記念品を受け取った後、石原麻里さん（村岡区神坂）が「感謝の気持ちを忘れずに、自分をあらためて見つめ直し、年齢とともに



立食パーティーでは、会場のあちこちから懐かしい友人との再会に感激する姿やお互いの近況を語り合う姿がありました。

アトラクションでは、新成人の西川菜佑さん(香住区駅前)と西村麻利さん(香住区駅前)を含む木曜アンサンブルの皆さんによる演奏が行われました。途中、同じく新成人の中村浩隆さん(香住区香住)がボーカルとして加わるなど、式典で緊張気味だった皆さんの雰囲気が大いに和らぎました。



▲雰囲気を盛り上げるアトラクションの様子

に自分の成長を自覚し、自分の心に正直に、前を見て進んでいくことを誓います」と成人宣言を行いました。

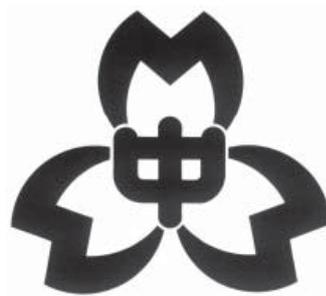
【村岡区の新成人】



【小代区の新成人】



村岡中学校 校章・校歌決まる



▲3中学校の統合と生徒のはつらつとした姿などがイメージされた校章

村岡中学校校歌

松岡尚志作詞
小山章三作曲

一、新緑映ゆる 蘇武が岳

われらは集う歴史の里に
友と語らん 真理の道を
希望に燃えて胸を張り
若き日の 夢を抱いて
学びの歩み たゆみなく
強く明るく 共に励まん
村岡 村岡 村岡中学校

二、清き流れの 湯舟川

われらは集う文化の町に
友と肩くみ 未来の道を
英知をみがき進みゆく
新しき 時代担わん
平和の祈り 誓いつつ
愛し敬い 共に学ばん
村岡 村岡 村岡中学校

村岡、兎塚、射添の3中学校が統合し、4月から新たに村岡中学校がスタートします。これに伴い、校名等検討委員会で昨年7月から9月にかけて校章と校歌(歌詞)を募集、このたび決定しました。

●校章について

町内外から応募のあつた18点の中から、審査の結果、広島県廿日市市の堀江豊さんの作品に決定。この作品は、村岡の「M」と中学校の「中」を基本とし、「中」の周囲に3中学校の統合を表すために3つの「M」を配置。未来に向かってはばたく翼(生徒)の姿をイメージし、「高い知性、豊かな感情、強い意志」「豊かさ」と「優しさ」を育てながら、夢にチャレンジする生徒の姿や無限のひろがり・輝きが表現されたものです。

●校歌について

歌詞は、香住区村岡区内から応募のあつた5点の中から、審査の結果、村岡区入江の松岡尚志さんの作品に決定。ふるさとで学び育つ生徒の姿を前面に表現しています。

曲は、射添小学校の校歌も作曲されている日本合唱界の大家である小山章三氏(千葉県市川市)に依頼し、歌詞にふさわしいすばらしい曲に仕上げていただきました。

●今後の予定

3月24日(火) 村岡、兎塚、射添中学校閉校式
4月7日(火) 村岡中学校開校式

●問い合わせ先

町教育委員会

★作詞者の思い



作詞された松岡さん(写真)は「生徒で、ふるさと村岡への郷土に誇りを持ち、希望とやる気を抱いて、これから歩んで欲しい」と語っていました。

村岡中学校校歌

作詞：松岡尚志
作曲：小山章三

1. しんりよ く は ゆ る そ ぶ 一 が だ け
2. きよ き な が れ の ゆ ぶ 一 ね が わ

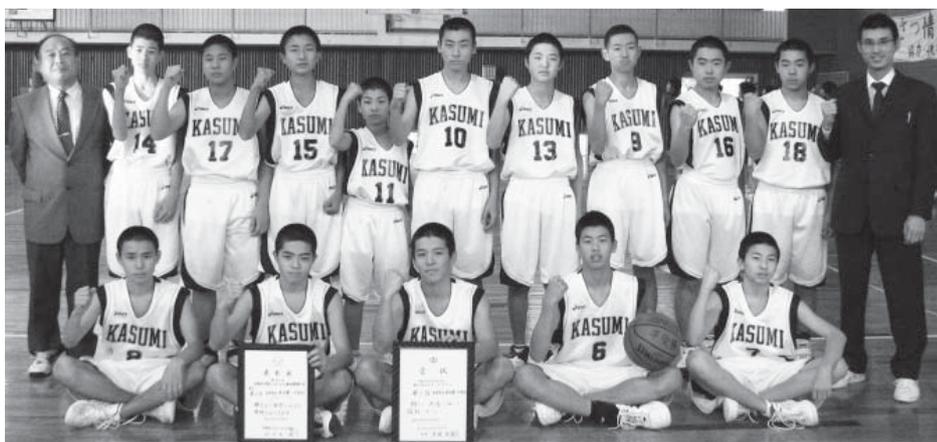
われらは集う文化の町に
われらは集う文化の町に

とともかたらん まことのみちを きぼうにもえて むねをはり
とともかたくみ みらいのみちを えいちをみがきすすみゆく

わかきひの ゆめをいだいて まなびのあゆみ たゆみなく
あたらしき じだいなわん へいわのいのりちかいつつ

つよくあかるく ともにはげまん むらおかむらおか むらおか中 学 校
あいしうやまい ともにはげまん むらおかむらおか むらおか中 学 校

第22回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に、 香住第一中から県選抜として3人出場



3月1日に開催される「第17回近畿中学生オールスターバスケットボール大会」ならびに3月28日から30日にかけて開催される「第22回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会」に、兵庫県チームの選抜選手として、香住第一中学校男子バスケットボール部から3人もの選手が出場することになりました。同部のキャプテン中村世康さんは、県の選抜チームでもキャプテンを務めます。なお、同部は、昨年末に行われた「平成20年度兵庫県中学校バスケットボール新人大会」で準優勝を獲得。香住一中としても初めてのことで、但馬の中学校がこのような好成績を残すことは非常に珍しく、まさに「快拳」を成し遂げました。

●県選抜選手の3人の意気込み！

中村世康さん

（写真前列中央、2年、香住区下浜）

「選抜チームもキャプテン。どちらもみんなをしっかりとまとめて、いいチームにしたいです。また、夏の総体の優勝を目指してがんばります」

川田圭祐さん

（写真前列右から2番目、2年、同区境）

「全国大会では、自分より背が高い選手に負けないようがんばります。チームワークを深め、しっかりと練習していきます」

西本広志さん

（写真前列右端、2年、同区西香住）

「自分にできることをしっかりとやって、声を出してがんばります。夏の総体では優勝できるようにがんばります」

中小企業緊急支援策のご案内 香美町中小企業資金融資特別利子補給制度について

香美町では、厳しい経済環境下にある町内の中小企業者の経営安定支援のための緊急対策として、兵庫県の中小企業融資制度のうち経営円滑化貸付を利用された中小企業者に、1%の利子補給を行う制度（「香美町中小企業資金融資特別利子補給制度」）を創設しました。

●対象者

次の要件に該当する町内の中小企業者（法人、個人）

- (1) 町内に事業所があり、同一事業を6カ月以上営んでいること
- (2) 町の徴収金に滞納がないこと

●対象となる融資

兵庫県の中小企業融資制度のうち「経営円滑化貸付」による新規融資に限り、

※兵庫県信用保証協会の保証付きに限ります。

※対象の業種指定（968業種）がありますが、町内業種としては農業、漁業者を除く、ほぼ全業種が対象になります。

●対象融資の限度額

1千万円

●利子補給率

1%

●利子補給の期間

2年間

●利子補給の方法

元金均等償還による利息に対し、年2回利子補給額を補助金として交付

●受付期限など

平成21年3月31日（1月5日融資実行分から適用）

●融資の相談先

但馬銀行、但馬信用金庫、みなと銀行、たじま農業協同組合の町内各支店

●問い合わせ先

役場観光商工課
各地域局地域振興課

※利子補給の対象となる「経営円滑化貸付」とセーフティネット保証の概要

【融資限度額】 1億円

【融資利率】 年1・35%

【融資期間】

10年以内（うち据え置き1年）

（今月2日に融資期間が7年以内から10年以内に延長されました）

【保証など】

・保証料

信用保証協会 0・8%

・保証限度額

無担保保証 1億6千万円

【取り扱い金融機関】

町内の金融機関（但馬銀行、但馬信用金庫、みなと銀行、JA

たじま）の各支店

第61回県高等学校総合体育大会 スキー競技会 村岡高校男女総合優勝！

第54回県中学校スキー選手権大会 小代中男子総合優勝・兎塚中女子総合優勝！

4つのスキー場を持つ本町は、年多くの選手がスキー競技において、県大会、近畿大会、全国大会などで活躍し、優秀な成績を残しています。今年も1月13日から15日にかけておじろスキー場で開催された「第61回兵庫県高等学校総合体育大会スキー競技会」や「第52回兵庫県中学校総合体育大会 第54回兵庫県中学校スキー選手権大会」などで、次のようなすばらしい成績を収めました。(各3位以上入賞者、敬称略)



▲男女とも総合優勝を果たした村岡高校スキー部の皆さん

●県高校総体

- 【ジャイアントスラローム】
 - 男子▼1位 板坂愁平 (村岡高2年)
 - 3位 田淵将康 (同2年)
- 【スラローム】
 - 男子▼2位 板坂愁平 (同2年)
 - 3位 櫻田雄大 (同1年)
- 【クロスカントリー(クラシカル)】
 - 男子▼1位 西村太一 (同3年)
 - 女子▼1位 吉岡実奈美 (同2年)
 - 2位 久保井郁美 (同1年)
- 【クロスカントリー(フリー)】
 - 男子▼1位 西村太一 (同3年)
 - 3位 藤井圭人 (同1年)



▲総合で女子優勝、男子2位の兎塚中スキー部の皆さん

●県中学総体

- 【ジャイアントスラローム】
 - 男子▼1位 西谷勇祐 (兎塚中3年)
 - 3位 井口裕太 (小代中3年)
 - 女子▼3位 森 朝香 (村岡中1年)
- 【リレー競技】
 - 男子▼村岡高(西村太一、井上航^註(2年)、藤井圭人、西村弘輝(1年))
- 【総合】
 - 男子▼1位 村岡高
 - 女子▼1位 村岡高



▲総合男子で優勝した小代中スキー部の皆さん

- 【スラローム】
 - 男子▼2位 西谷勇祐 (兎塚中3年)
- 【クロスカントリー(クラシカル)】
 - 男子▼1位 小林天真 (小代中3年)
 - 2位 西村康平 (同3年)
 - 3位 今井寿樹 (同3年)
- 【クロスカントリー(フリー)】
 - 男子▼1位 西口玲子 (兎塚中2年)
 - 2位 白岩真希 (同1年)
 - 男子▼1位 西村康平 (小代中3年)
 - 2位 今井寿樹 (同3年)
 - 3位 小林天真 (同3年)
 - 女子▼1位 西口玲子 (兎塚中2年)
 - 2位 白岩真希 (同1年)
- 【リレー競技】
 - 男子▼小代中(小林天真、久保井耕平(3年)、今井寿樹、西村康平)
- 【総合】
 - 男子▼1位 小代中、2位 兎塚中
 - 女子▼1位 兎塚中

●第57回近畿中学校総合体育大会 第15回近畿中学校スキー大会

- 【ジャイアントスラローム】
 - 男子▼1位 西谷勇祐 (兎塚中3年)
 - 女子▼2位 森朝香 (村岡中1年)

【全国大会出場者(敬称略)】

村岡高校の板坂愁平(村岡区福岡)、西村太一(小代区忠宮)、藤井圭人(小代区平野)、吉岡実奈美(小代区秋岡)、久保井郁美(小代区神水)は、2月の冬季国体に出場。村岡中の森朝香(村岡区東上)、兎塚中の西谷勇祐(同区大笹)、西口玲子(同区大笹)、白岩真希(同区福岡)、小代中の小林天真(小代区新屋)、西村康平(同区忠宮)、今井寿樹(同区秋岡)、藤澤徳晃(2年、同区水間)、今井健二(2年、同区秋岡)、久保井耕平(同区茅野)、井口裕太(同区城山)、井口翔太(3年、同区城山)、田中健太郎(2年、同区水間)は、2月の全国大会に出場。

県民交流広場事業 (村岡地区) が竣工



▲竣工を祝い、山名睦会による獅子舞などが披露されました。

小学校区ごとに住民組織による身近な活動の場作りと支援のため、兵庫県が平成18年度から展開している「県民交流広場事業」。昨年竣工式を終えた香住区の奥佐津地区、香住地区、余部地区に続き1月25日、村岡地区が竣工式を迎えました。

小学校区ごとに住民組織による身近な活動の場作りと支援のため、兵庫県が平成18年度から展開している「県民交流広場事業」。

歴史・文化を生かしたまちづくりに取り組む村岡地区では、歴史と文化の耀く村岡まちづくり委員会、が事業主体となり、村岡地域局3階の旧議場を郷土歴史文化学習交流室として改修。12月25日に工事を終えた同交流室には、村岡藩主山名氏にまつわる資料などが展示され、地域の歴史・文化を学ぶ生涯学習や、伝統芸能の保存・伝承などの取り組みに役立てられます。

竣工式では、くす玉割りの後、山名睦会による獅子舞や、村岡の歌と踊り保存会による民謡「静川節」、村岡小学校6年生による校歌とソーラン節が披露されました。

国民年金保険料の納付は『前納+口座振替』がお得！

国民年金保険料は、毎月納めるより、1年分(4月分～翌年3月分)または6ヵ月(4月分～9月分、10月分～翌年3月分)を一括で前納する方が、割引がありお得です。

さらに口座振替で納めると割引額が多くなります。平成20年度は、口座振替で1年分前納した場合の割引額は3,620円(6ヵ月前納では980円)でした。この制度の利用をお勧めします。

平成21年度の口座振替による1年前納、6ヵ月前納(4月分～9月分)を希望する人は2月未までにお申し込みください。

●申し込み方法

『国民年金保険料口座振替納付(変更)申出書』に必要事項を記入して、口座振替希望の金融機関や郵便局、社会保険事務所へ提出してください。(用紙は、金融機関、郵便局、社会保険事務所、役場・各地域局にあります)

●問い合わせ先

役場健康福祉部町民課
各地域局健康福祉課
豊岡社会保険事務所

☎0796・22・0945

香美町長選挙・香美町議会議員選挙の立候補予定者説明会は2月27日

4月26日執行の香美町長選挙、香美町議会議員選挙の立候補予定者説明会を次のとおり開催します。

当日は立候補に関する諸用紙を配布しますので、立候補予定者または代理の方は必ず出席してください。

なお、会場の都合で、出席人数につきましては立候補予定者1名につき2名以内とさせてい

ただきますので、ご協力をお願いします。

また、立候補予定者の予備審査は、4月9日(木)を予定しています。

●とき 2月27日(金) 13:30～

●ところ 役場3階大会議室

●問い合わせ先

香美町選挙管理委員会(役場総務部総務課)

☎0796・36・1111

寄贈いただきました(順不同)



●自動車
(7人乗りワゴン車) 1台

株式会社西山工務店
代表取締役 西山嘉一様

◆お詫びと訂正◆

広報「ふるさと香美」第46号(平成21年1月号)の記事に、以下のとおり誤りがありました。関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びして、訂正いたします。

- ・4ページの『人権啓発作品表彰式、人権講演会を開催』の記事中、【標語の部】「村岡中学校PTA 上田通雄」とありますが、正しくは「上田通雅」さんでした。
- ・15ページの『まちの出来事』の記事で「旬の野菜収穫祭自然薯まつり」中、「中村和正さん(村岡区市原)」とありますが、正しくは「(村岡区大糠)」でした。

求 人 情 報

ハローワーク香住（職業安定所）

☎0796・36・0137

（平成21年1月21日現在、順不同）

▽正社員					▽パートほか（正社員以外）						
所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数	所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数		
香住区間室	(有)北近畿環境開発	水処理施設管理補助	59以下	1	香住区七日市	やまだ歯科医院	歯科助手	不問	1		
		機械設備管理補助	59以下	1			歯科衛生士	不問	2		
		事務職（管理、労務）	59以下	1			香住区若松	(有)西増商店	水産加工員	不問	2
香住区七日市	やまだ歯科医院	歯科助手	62以下	1	香住区七日市	(株)蔵平水産	製造包装員	59以下	2		
		歯科衛生士	不問	2	香住区香住	香住観光旅館 丸世井	配膳、食器洗い、布団の上げ下げ、清掃	不問	3		
香住区若松	(有)西増商店	水産加工員	62以下	2	香住区若松	香美町役場（「ゆうすげ」）	介護員（非常勤嘱託職員）	59以下	2		
香住区七日市	(株)蔵平水産	製造包装員	59以下	3	香住区香住	(株)マルワ渡辺水産	水産加工員	不問	3		
香住区沖浦	(株)カネト水産	水産加工員	不問	3	香住区七日市	ヤマモトロープ	販売	不問	2		
香住区若松	(有)K-SIN TRANSPORT	運転手	不問	2	香住区七日市	ヤマモトロープ	販売店員	不問	2		
香住区香住	(有)三七十	調理師見習	不問	1	香住区浦上	(有)いわや	接客係	不問	2		
香住区下岡	香住食研(株)	食品製造	不問	2	香住区境	(株)香美町観光公社	清掃係	不問	1		
香住区香住	(有)もりひろ商店	水産加工員	64以下	1	香住区境	(株)香美町観光公社	清掃係（～21年3月31日）	不問	2		
香住区香住	マルヤ水産(株)	水産加工員	34以下	1	香住区香住	ローソン香美町香住店	コンビニ店員	不問	2		
香住区若松	かわばた歯科	歯科衛生士	不問	1	香住区若松	(株)共和食品	水産加工員	不問	3		
香住区隼人	マルカツ水産(株)	工場管理者	59以下	1	香住区下岡	香住食研(株)	食品製造	不問	3		
香住区森	(有)西本設備	電気工事士	59以下	1	村岡区大笹	(株)日本健康の郷	住込	レンタルスキー・カフェショップ店員	不問	3	
		電気工事士（見習）	30以下	1			住込	清掃、床敷、洗い場、調理補助、接客係	不問	4	
村岡区長瀬	山本工業	土木施工管理	不問	2				レンタルスキー・カフェショップ店員	不問	3	
小代区野間谷	SHT兵庫(株)	開発設計技術者	59以下	1				事務員	不問	2	
小代区城山	(株)出石モータース	営業（小代営業所）	59以下	1				清掃、床敷、洗い場、調理補助、接客係	不問	4	
▽パートほか（正社員以外）							村岡区村岡	村岡日石(株)	給油・洗車スタッフ	不問	2
所在地	事業所名	職種	年齢	人数			村岡区大糠	(株)ナカケー	青果部・食品部	不問	2
村岡区大糠	(株)コメリ ハードアンドグリーン村岡店	販売員（アルバイト）	不問	2			小代区野間谷	SHT兵庫(株)	レジ部	不問	2
		販売員（パート）	不問	1					自動車運転免許センター（試験場）	不問	10

お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（12/24～1/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

町職員人事異動

- 退職（12月31日付）
 - 西口 知広（看護師、公立香住病院）
 - 南 悟子（看護師、公立香住病院）
 - 異動（1月1日付）
 - 【主査・主事級】
 - 健康福祉部福祉課
 - 今西 由貴（健康福祉部健康課）
 - 公立香住病院
 - 南垣 忠（鳥取県立中央病院派遣）
- （※カッコ内は旧職）

※このコーナーは、先月（12/24～1/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

●役場各課など主な施設の連絡先

- 役場本庁舎 36・1111(代表)
- | | | | |
|---------------|-------------|---------------|---------------|
| 総務課 36・1111 | 企画課 36・1962 | 税務課 36・1113 | 会計課 36・4321 |
| 町民課 36・1110 | 健康課 36・1114 | 福祉課 36・1964 | 農林水産課 36・0846 |
| 観光商工課 36・3355 | 建設課 36・1961 | 上下水道課 36・0420 | 議会事務局 36・1963 |
- 村岡地域局 94・0321(代表) 小代地域局 97・3111(代表)
- 教育委員会 94・0101 香住分室 36・3764 小代分室 97・3966
- 公立香住病院 36・1166 公立村岡病院 94・0111 香住地域福祉センター 36・4345
- 香住老人福祉センター 36・5008 村岡老人福祉センター 98・1000
- 小代高齢者生活支援センター 97・2202
- (全ての施設の市外局番：0796)

まちの出来事

「山の神」に1年の無病息災を願う伝統行事が香住区沖浦で1月6日に行われ、地元幼稚園児から中学3年生までの男子15人と関係者らが参拝。近年は幼稚園児から小学校の児童が対象で、中学生の参加は30数年ぶりのことでした。

(香住区)

「山の神」に1年の無病息災を願う伝統行事が香住区沖浦で1月6日に行われ、地元幼稚園児から中学3年生までの男子15人と関係者らが参拝。近年は幼稚園児から小学校の児童が対象で、中学生の参加は30数年ぶりのことでした。



▲男前にはいけません

山の神は醜くしつと深い女神で、女人禁制。子どもたちも女神の怒りに触れないよう、顔中に墨を塗ってお参りします。今年も念を入れ、同行した地元の男性も顔を墨で汚しての参拝。お神酒や左右大ききの異なるわらじ(山の神は足の大きさが左右異なるため)、しめ縄などのお供え物を携え、「やまのかみのおまつり」はおおきなおまつりで、おおびつにいっぱい、こびつにいっぱい、あーらめでたや、あとのごぶくはたのんだー」と大きな声で唱えながら、集落を抜けて約1km離れたほくらにお参りました。

▼お供え物を手に練り歩く



松森亮太くん(柴山小6年)は「去年よりましな顔です。みんなおもしろい顔になりました」と語っていました。

新春ジャンボ書初め大会 今年も元氣いっぱいこー!

(村岡区)

村岡体育館で1月11日、恒例の「新春ジャンボ書初め大会」が行われ、村岡区内の小学生25人が参加しました。字の上達を願い、大きな筆を使い、体全体を使って、120cm四方の画仙紙いっぱいに字を書きました。

今年も、新しい年に向かって元氣よく進んで行けるように「春の空風光る」の6文字が課題とされました。

▼力作を手に



「光」の字を書いた長岡佑果さん(兔塚小3年・村岡区黒田)は「こんな大きな紙に書いたのは初めてです。難しかったけどとても楽しかったです」と話していました。なお、入賞者は次のとおりです。
特別賞▼『の』前田和佳葉(村岡小1年・村岡区耀山)、特選▼『る』小西美沙希(射添小2年・同区山田)、『光』西田すず乃(兔塚小3年・同区日影)、『空』黒田美里(兔塚小5年・同区宿)

高校生地域貢献事業「村高除雪隊」出動! 地域のために、人のために

(村岡区)

香美町村岡高齢者生活支援センター「つづじの里」で1月16日、県立村岡高校の男子バレーボール部(井口頌久主将(小代区大谷)、13人)と女子バレーボール部(宝垣茜主将(村岡区味取)、11人)が、授業終了後に「村高除雪隊」として、スコップやスノーダンプを使い、同施設の玄関前や非常口周辺などの雪を取り除く作業を行いました。



▲スノーダンプで除雪する生徒たち

▼みんなで頑張りました



施設の周りには1mを超える積雪があり、入所者の出入り口や避難路の確保に「役買いました。この村高除雪隊は、高校生地域貢献事業の一環で、町社会福祉協議会村岡支所の要請を受け、同校の生徒が福祉施設などの除雪をボランティアで行っているものです。

高山静菜さん(1年生、小代区秋岡)は「人のためになれて、うれしい。また、要請があれば、地域のために協力したいです」と語っていました。

「1・17は忘れない」地域防災訓練
将来の災害に備え、避難訓練
 (香住区)

▼吹き出し体験



サイレン吹鳴とともに小学生や住民の皆さんが同校のグラウンドに避難し、関係地区の自主防災組織による初期消火訓練や吹き出し、但馬各市町からの応急給水訓練、小学校の屋上からの高所救出訓練などが行われ、関係機関との連携や協力体制の充実を図りました。

香住小学校の校庭に災害対策本部を構えて1月18日、平成7年に起きた阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れることなく、将来の災害に備え、防災訓練を行いました。朝9時30分に日本海沿岸を中心に震度6強の大地震が発生したことを想定。香住小学校の生徒と香住自治区、西香住区、駅前区の自主防災組織のほか、陸上自衛隊、但馬県民局、美方広域消防本部、町社会福祉協議会など関係機関を含め約1000人が参加しました。



▲自主防災組織の避難訓練

第15回余部地区福祉交流会
やさしさを見つけよう!
 (香住区)

▼「ふるさと」を手話も使い、みんなで歌いました。



児童会長の谷口昌駿くん(余部小6年、香住区市午)は「手話やいろいろな福祉の道具があることがわかって、とても勉強になり、福祉の心がよくわかりました」と語っていました。

余部小学校体育館で1月18日、余部地区福祉交流会が行われ、地区の子どもから大人まで多くの皆さんが参加し、福祉体験やバザーを通じて、福祉の心を育みました。福祉体験では、町社会福祉協議会の指導の下、腰の悪い人などが靴下を簡単にはくことができる器具をはじめ、さまざまな福祉用具の使い方を学んだり、参加者全員で手話で「ふるさと」を歌ったりしました。また、バザーでは地区内から持ち寄った手づくり品や生活用品、おでんや豚汁などが販売されました。なお、同交流会のバザーで集まった収益金などは、盲導犬協会や日本ユニセフなどに寄付されています。



▲これはどうやって、使うんだろう?

第4回香美町民スキー大会
白銀の世界に、スキーヤー集う
 (村岡区、小代区)

▼アルペン競技出場者の皆さん



【クロスカントリー】
 小学5・6年男子▼小林和光(小代小6年)、中学男子▼西村康平(小代中3年)、同女子▼西口玲子(兔塚中2年)、高校生以上男子▼井上倫和(小代区神水)、同女子▼吉岡実奈美(小代区秋岡)

快晴の1月25日、町内の小学生から大人まで63人が出場した第4回香美町民スキー大会。八チ北高原スキー場でアルペンが、おじろスキー場でクロスカントリーが開催されました。各部門の優勝者は次のとおり。(敬称略)
 【アルペン】小学1・2年男子▼明保能 弘翔(小代小2年)、同女子▼前垣璃子(小代小2年)、小学3・4年男子▼川戸浩輝(小代小4年)、同女子▼西谷彩(兔塚小4年)、小学5・6年男子▼川戸将稔(小代小6年)、同女子▼小谷美王(兔塚小6年)、中学男子▼西谷勇祐(兔塚中3年)、同女子▼小谷巴香(兔塚中2年)、高校▼24歳男子▼板坂 愁平(村岡区福岡)、35〜44歳男子▼長岡尚男(村岡区黒田)、45〜54歳男子▼家現 孝晴(村岡区高井)、55歳以上男子▼田中 徹(村岡区板仕野)



▲雪山のマラソン! クロスカントリー

ふるさとの魅力を訪ねて

余部地区

余部地区は、市午、梶原、浜、西、御崎、鎧からなります。

町の北西に位置するこの地区は現在、余部鉄橋の架け替え工事と地域高規格道路鳥取豊岡宮津自動車道（「余部道路」）の工事が着々と進み、地区の姿が大きく変わろうとしています。余部鉄橋は平成22年秋に新橋へ架け替えられる予定で、余部道路は平成22年度中には開通する予定です。特に近代土木遺産としても大変貴重で、本町を代表する観光資源でもある余部鉄橋の架け替えが決定してからは、その雄姿を一目見ようと、全国から大勢の観光客が詰めかけています。

光源の位置が日本一高い余部埼灯台のある御崎は、毎年1月28日に開催される「百手の儀式」をはじめ、平家落人伝説の郷として大変有名です。

今年1月に国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」（国選択無形民俗文化財）に選ばれた「但馬の麒麟獅子舞」の伝承地の一つで、NHKの連続テレビ小説『ふたりっ子』のロケ地にもなった鎧区では、毎年ゴールデンウィークに鎧港の上空におよそ100匹の鯉のぼりが揚げられ、町内外から多くの見物客が訪れます。

地域の取り組みとしては、次代を担う子どもたちのために、自然を生かし、うるおいとやすらぎのある「心のふるさと」を創造しようと、当時の区長会などが中心となり、平成元年からアセビ谷溪谷で「アセビ谷不動尊まつり」を開催。毎年、ハイキングや魚つかみ、バーベキューなどが行われ、地区民のよき交流の場となっています。降雨後などに、国道からこのアセビ谷を望むと、落差約100mの「大滝」を見ることが出来ます。

また、地区を挙げて福祉の心を育てようと毎年、余部地区福祉交流会が開催され、さまざまな福祉体験やバザーを通じ、福祉についての理解を深める取り組みが行われています。（本紙19ページに関連記事あり）



◆地区の世帯数と人口 (H21.1.1 現在 町民課調べ)

区名	世帯数	人口			区名	世帯数	人口		
		男	女	計			男	女	計
市午	43	72	73	145	西	56	82	113	195
梶原	18	36	39	75	御崎	18	37	37	74
浜	62	105	120	225	鎧	60	97	111	208
合計					合計	257	429	493	922

今年には288人の皆さんが、成人式という一つの節目を迎えました。会場には、10年前に私が担当の1人として開いていたスポーツ教室の参加者の姿もあり、当時と変わらぬ呼び方で声をかけてくれました。こちらが少し緊張するくらいに大人になった彼らに圧倒されつつ、「おめでとう」。懐かしさと驚きでいっぱいでした。

成人式は、少し硬い式典でもありますが、気を許せる幼なじみが久しぶりに集うよい機会でもあります。学生生活真っ只中の人、すでに働いている人、それぞれ「20歳」。ふるさとを離れ、社会に出て、少し気を張って人生を歩んでいる皆さんが、肩の力を抜いてありのままの自分で見られる仲間との再会。思わずこぼれる笑顔。新成人の皆さんのこの笑顔が、ふるさと、のすばらしさを表している気がします。

がんばれ！二十歳の皆さん。 (西)

編集後記

まちのうごき

(平成21年1月1日現在)

合計 21,650人 (-32)
 男 10,284人 (-11)
 女 11,366人 (-21)
 世帯数 6,940世帯 (-12)

カッコ内は前月比



この「広報ふるさと香美」は、自然環境を考えてソイ（大豆油）インキ、再生紙を使用しています。